

## グラントマト(7137)

農業生産者・消費者・各企業を繋ぐサービスを創出・提供する「好循環スパイラル」の仕組み構築で成長へ

TOKYO PRO Market | 農産物卸売 | 会社紹介

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 7137:JP | REUTERS 7137.T

- 農業生産者や消費者、各企業を綿密かつ有機的に連携させるサービスを創出・提供する「好循環スパイラル」を経営方針の柱とする。
- 自社開発PB商品への取組みに加え、農業流通部門で効率良い流通経路構築により農業生産者の経営好転と消費者の満足度向上を図る。
- FDC・インターネット販売部門は全量買取り・自社物流でメーカー直接納入先を獲得。ネット販売で仕入コスト減とスピード化を支援。

### What is the news?

同社は、農業生産者や消費者、各企業を繋ぐサービスを創出・提供することを「好循環スパイラル」と呼び、各々の持つ様々な価値を有機的に連結させて新しい価値や市場を作り上げることに加え、その価値を関係企業や農業生産者、消費者へと還元していくことを目指している。

主力のストア販売部門では、多店舗型小売りの「グラントマト店舗」で農業生産者を顧客として農業関連資材を販売のほか、産直生産物の販売を通じて農業生産者と消費者を繋ぐ。食料品販売の「フードマーケット」は神戸物産の「業務スーパー」加盟店舗に加えて自社開発プライベート・ブランド(PB)商品の販売を通じて新しい価値の創出に注力する。

農業流通部門では、農業生産者との直接取引、自社物流、自社加工といった効率の良い流通経路を構築することで時間短縮による鮮度維持とコスト低減を図り、消費者の満足度を向上させる品質・鮮度・価格を提供。それと共に農業生産者の経営好転も図られる。

FDC(福島ディストリビューションセンター)・インターネット販売部門では、全量買取り、自社物流による流通管理体制の構築、商品の開拓や開発・PB化を通じてメーカー直接納入先を多数獲得。その基盤上で消費財や農業資材の自社ECサイトや大手ECサイトへの出店によるネット販売によりメーカーからの仕入コスト低減とスピード化を実現している。

### How do we view this?

2021/8通期は、売上高が前期比3.1%減の117.86億円、営業利益が同25.0%減の1.82億円、経常利益が同22.3%減の1.66億円。①主力のストア販売部門は2021年2月の緊急事態宣言再発令以降に低調となり、売上高が同1.4%減の94.13億円。②農業流通部門は飲食店等の営業時間短縮や外国人インバウンド減少に伴う業務用米の需要減が響き、売上高が同11.5%減の15.89億円。③FDC・インターネット販売部門は前期のコロナ特需沈静化に伴う反動減により売上高が同4.7%減の7.42億円となった。

2022/8通期会社計画は、売上高が前期比2.3%増の120.60億円、営業利益が同51.4%増の2.76億円、経常利益が同55.0%増の2.58億円。新型コロナ感染拡大が業績に与える影響の不確実性が残るなか、アグリ市場における「好循環スパイラル」に係る農業生産者や消費者、各企業を繋ぐサービスの創出・提供によって着実な業績伸長を見込んでいる。

### 業績推移

事業年度	2019/8	2020/8	2021/8	2022/8F
売上高(百万円)	11,765	12,164	11,786	12,060
経常利益(百万円)	83	214	166	258
当期利益(百万円)	81	27	163	284
EPS(円)	42.41	14.24	84.94	147.92
PER(倍)	28.30	84.27	14.13	8.11
BPS(円)	89.01	100.25	178.19	-
PBR(倍)	13.48	11.97	6.73	-
配当(円)	3.00	7.00	10.00	15.00
配当利回り(%)	0.25	0.58	0.83	1.25

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=会社予想)

配当予想(円) 15.00 (会社予想)  
 株価(円) 1,200 2022/2/25(終値)

### 会社概要

1994年に代表取締役の南條浩が現在の同社となる有限会社ナンジョウアグリサービスを設立。同社は「アグリ市場における好循環スパイラルによって、農業生産者や消費者、各企業の皆様をつなぐサービスを創出し提供する」という経営方針を掲げてアグリソリューション事業を展開。福島県、茨城県、栃木県、山形県下を中心に事業を展開。2022年2月25日にTOKYO PRO Marketに新規上場を果たした。

①ストア販売部門は、農業用資材・機器、農業・肥料などの農業関連資材および産直生産物を販売する「グラントマト店舗」、および、食料品販売の「フードマーケット」の多店舗型小売事業を行う。フードマーケット店舗は、神戸物産のブランドである「業務スーパー」のフランチャイズ加盟店のほか、自社開発のプライベート・ブランド(PB)商品の販売を進める「FOOD MART グラントマト」を擁する。

②農業流通部門は、取引生産者の米を全て集荷・販売することを基本方針として、精米・加工による付加価値を經由した販売を行う「米の販売(卸・ネット)」、農業生産資材等を訪問販売する「農業生産資材の販売」、高品質な農産物を直接生産者へ赴いて買付を行い、加工して店舗へ供給する「その他農業生産物の加工・販売」に分類される。

③FDC(福島ディストリビューションセンター)・インターネット販売部門は、全量買取り、自社所有の大型トラックを備えた自社物流による流通管理体制の構築、商品の開拓や商品開発・PB化を通じてメーカー直接納入先を獲得。その基盤の上に消費財や農業資材を自社ECサイトのほか楽天やヤフーなどにも出店している。

### 企業データ

主要株主(2022/1/20)	(%)
1.有限会社南條商店	57.95
2.グラントマト従業員持株会	15.62
3.南條浩	5.21
4.南條祥子	3.90
5.南條一樹	3.12

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

### リサーチ部

笹木 和弘

kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp  
 +81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平 14.1.25」に基づく告知事項>

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当 J-Adviser に就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っています。